

様式第6号（第10条関係）

令和2年3月23日

広陵町長 殿

申請者 所在地 広陵町大字三吉 379 番地
団体名 特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会
代表者氏名 新谷眞貴子 印



広陵町協働のまちづくり提案事業補助金完了報告書

令和元年8月21日付け広陵町指令第238号において交付決定を受けた広陵町協働のまちづくり提案事業補助金に係る事業について、広陵町協働のまちづくり提案事業補助金交付要綱第10条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて報告します。

記

- 1 団体名 特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会
- 2 事業名 0歳児の子育て支援事業（ゼロのわくわくプログラム）

添付資料

- 1 事業報告書
- 2 事業収支決算書
- 3 事業実施に要した経費に係る領収書等の写し
- 4 その他

様式第7号（第10条関係）

令和2年3月23日

広陵町長 殿

申請者 広陵町大字三吉379番地
団体名 特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会
代表者氏名 新谷真貴子



広陵町協働のまちづくり提案事業補助金事業報告書

令和元年度広陵町協働のまちづくり提案事業補助金の交付決定通知のあった事業について、次のとおりその実績を報告します。

記

1 交付決定内容

事業名	0歳児の子育て支援事業(ゼロのわくわくプログラム)
補助対象経費合計額	100,000円(実績額)
交付決定額	100,000円
活動実施期間	令和元年9月1日 から 令和2年3月21日 まで

- ※ 事業報告書及び事業収支決算書は、原則公開となります。
- ※ 補助対象経費の支出は、項目ごとに領収書の写しをA4判にまとめて添付してください。

2 事業実施内容

団体名特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会

<p>令和元年度の事業の目的等に対する達成度及び評価</p>	<p>目的の達成度</p>	<p>4点</p>	<p>(5段階で5点を最高点として5点から1点の間で自己評価してください。)</p>
<p>事業の成果又は効果</p>	<p>評価理由</p>	<p>乳児を持つ親の学びの場、語らいの場、質問や確認の場、乳児の親子の成長を見守る場となった。本事業によって、親子の成長を見守り、乳児の子育ての不安や戸惑いを軽減できる支援が出来た。</p>	
<p>事業の反省点及び課題</p>	<p>改善事項等</p>	<p>定員を決めていたが、参加希望が増えたことにより、可能な限り参加数を増やした。参加数に適した場所やスタッフの数の確保に努めた。</p> <p>乳児の子育てに向き合っている参加者は、まだ経験が少なく、子育ての不安や戸惑いが多い。そのような状況の中で、「子育ての新しい知識を得られる」、「親同士のつながりが出来る」、「保育士や助産師等の専門職のスタッフに相談することにより不安が解消される」、「思っていることをはき出し、聞いてもらうことによって、不安感が安心感へと変わり、親としての成長につながる」、「乳児計測により、子どもの成長が確認出来る」、「他の子どもや保護者の様子を見たり聞いたり出来る」というさまざまな支援があることによって、子育ての不安や戸惑いを軽減することが出来たと考えられる。子どもが1歳に近づく頃に、子育ての入り口にいた自分を振り返った親自身が成長を感じ、子どもを改めて愛おしく思うというような効果も見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員10名であったが、参加希望が増えたことにより、それまで開催していた場所では狭くなり、安全面を考えて、より広い場所とスタッフの人数確保が必要になり検討・改善を重ねた。 ・確保できる場所とスタッフの人数を踏まえて、参加の受け入れ人数を変えたり、待機を設けたりして対応したが、今後も円滑に事業を進めていくうえで、希望人数に応じられる場所とスタッフの確保が課題である。 ・「ゼロのわくわくプログラム」を知らなかったという幼 	

	<p>児の親御さんから、「『ゼロのわくわくプログラム』（本事業）をもっと早く知っていたら、子どもが乳児の、子育てが一番辛かった時期に参加したかった」という思いを何度も聞いた。本事業については、公共施設等でのチラシ・通信の設置や新生児訪問での配布に加え、本会のフェイスブックでも情報提供を行っているが、どのように乳児を子育て中の親に周知するかが課題である。また、町としての事業になれば、場所やスタッフの確保等の課題も、少し緩和されると思うので、今後は行政との話し合いが必要であると考えます。</p>
活動名	内容
<p>布で遊ぶ&パパの子育て参加</p>	<p>9月1日(日)実施 両親で2組の参加があり、普段あまり育児に関われない父親も、子どもと布でゆったりと遊んだり、親同士の交流で楽しんだりした。今後も、父親参加型の会の希望があった。 プログラム：親子一緒に布で遊ぶ→交流→乳児計測 場所：自遊空間ゼロ（乳児の親子参加者数6人）</p>
<p>わらべうたで遊ぼう</p>	<p>10月1日(火)実施 家庭で親子で簡単にできる「わらべうた遊び」をいくつか紹介し、実際に親子で遊んだ。そのことを通して、母親が楽しさを感じて、家でもやってみようという意欲につながった。また、母親同士の交流で、悩みが解消されたり、気持ちが楽になったりしたという感想もあった。 プログラム：親子一緒にわらべうたで遊ぶ→交流→乳児計測 場所：自遊空間ゼロ（乳児の親子参加者数21人）</p>
<p>おもちゃを作って遊ぼう</p>	<p>11月5日(火)実施 家庭にある物でマラカスおもちゃを作った。忙しい生活の中で、子どものために母親がおもちゃを作る楽しみを感じたり、作ったおもちゃで親子や参加者と一緒に遊ぶことを楽しんだりした。おもちゃを作る工程で、母親同士が他の母親と、グループの中で話し合うことで、初めての参加者も話しやすい雰囲気になった。 プログラム：2グループに分かれておもちゃ作りと交流タイムを20分で交代する→出来上がったおもちゃで遊ぶ→乳児計測 場所：自遊空間ゼロ（乳児の親子参加者数31人）</p>

ベビーマッサージ& タッチケア	<p>12月3日(火)実施</p> <p>ベビーマッサージやタッチケアを学ぶ。マッサージ等の効果で親子の関係が良好になり、親子の絆が深くなったり、親子ともに豊かに成長したりすることを学んだ。</p> <p>プログラム：オイルパッチテスト→わらべうた→ベビーマッサージ→交流→乳児計測</p> <p>場所：自遊空間ゼロ（乳児の親子参加者数36人）</p>
絵本の楽しみ&親子 遊び	<p>1月7日(火)実施</p> <p>色々な絵本を保育士が読み、参加者が絵本の読み方や絵本の特徴についての話を聞いた。その後、母親が実際にその場で乳児に絵本を読み聞かせをして楽しんだ。親子で遊ぶことの大切さや、スマホやテレビが子どもにとってどんな影響があるのかについての講話で、母親が改めて、「遊び」について考えるきっかけとなった。</p> <p>プログラム：絵本について→遊びについて→スマホ・テレビについて→交流→乳児計測</p> <p>場所：広陵町立図書館・視聴覚室 (乳児の親子参加者数36人)</p>
パパと一緒に&布で遊 ぼう	<p>2月2日(日)実施</p> <p>両親で多数の参加があり、ハンカチやタオルを使って簡単に家で出来る遊びを親子で楽しんだ。交流タイムを母親のグループと父親のグループで分かれて行うことによって、父親同士が家庭での育児の話を情報交換することが出来た。</p> <p>プログラム：布で遊ぶ→交流→乳児計測</p> <p>場所：広陵町立中央公民館・和室 (乳児の親子参加者数44人)</p>
	<p>3月3日(中止)</p> <p>☆3月に予定していた会に、20組(参加親子予定数40人)の参加申込みがあり、開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、乳児の親子広場「ゼロのわくわくプログラム」は中止となる。予定場所：はしお元気村</p>
子育ての電話相談・ 地域住民への協力の お願い	<p>3月の会に参加申込みをされた各家庭に電話を入れ、会の今後の連絡と共に、離乳食の相談等専門職の助産師・保育士等のスタッフが、電話での相談の対応をする。今後も、困った時には、電話やメールでの相談に応じることも伝えた。また、地域住民から子育てをされている人に応援の声をかけて</p>

	<p>いただけるように、会からのお願いのパンフレットを添えて、「虐待通報に至らなかった、地域の人々との関わりの話」が掲載されている小冊子を公共施設に設置していただいた。</p>
<p>翌年度以降の事業及び今後の具体的方針について (活動内容、財源、他団体との連携等)</p>	<p>翌年度の事業については、多くの参加者が参加して良かったと思う、従来の活動内容はそのまま進めていく。すなわち、乳児の親子がゆったり出来る環境を整え、乳児の子育てに役立ち楽しめるプログラムを展開していく。さらに、毎回実施しているアンケート調査や生の声を基に、参加者の希望やニーズを把握し、プログラムを計画・実施・検討（振り返り）・立案していく。</p> <p>多くの希望者を受け入れられる場所とスタッフの確保が必要であるので、行政・地域住民・他団体との話し合いを重ね、さまざまな可能性を探っていきたい。</p> <p>また、0歳児の子育てを地域全体で見守り応援していただくために、今後も通信で、乳児の子育て支援活動を地域へ発信していく。</p> <p>本事業の財源としては、引き続き広陵町協働のまちづくり提案事業補助金の交付を受け、賛助会員や寄付金・カンパを募って資金を確保していく。</p> <p>広陵町内だけではなく、近隣の市町村の団体とも連携して、子育て支援のネットワークを形にして、0歳児の子育て支援、その後の幼児期の子育て支援も含めた支援を協働で行える基礎を築いていきたい。</p>

※ 活動内容等の記入に際し、上記枠内を超える場合は、任意の書式にて提出してください。